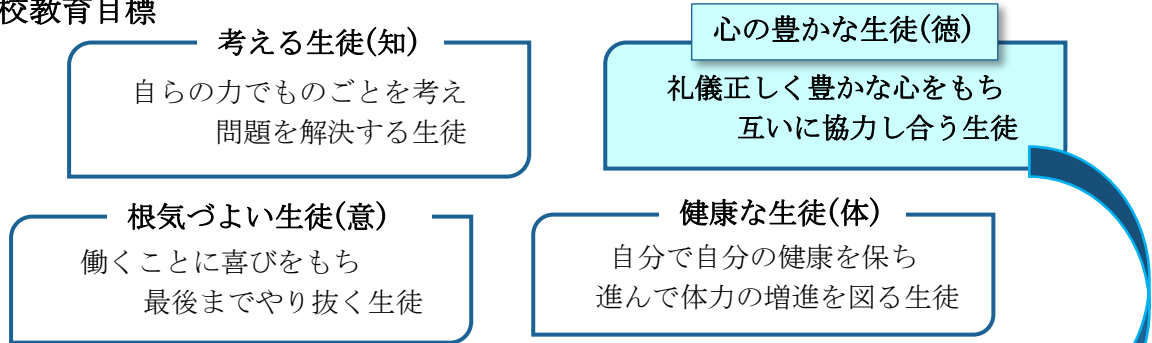


令和8年度 学校経営方針

1 経営理念

望ましい人間関係づくりの基盤となる「適切なかかわり」により、「子どもたちのやる気を引き出し、可能性を伸ばす」こと、そして、「他者の力も借りながら、自分の力で生きていく意欲を備えた子どもを育てる」ことを理念とし、保護者、地域と共に教育の本質に迫ろうと努力し続ける学校でありたい。

2 学校教育目標



3 R 8 重点教育目標

心の豊かな生徒：礼儀正しく豊かな心を持ち 互いに協力し合う生徒の育成

【設定理由】：すべての教育活動の基盤には、「望ましい人間関係づくり」がある。生徒と教師、生徒同士、教師同士または教師と保護者等、学校とかかわりのあるすべての関係者が多様な価値観を理解し認め合い、適切にかかわり合うことで共感的かつ公平性の高い信頼関係が生まれる。それこそが、教育が行われる上で最高の環境と言える。そうした環境の中で豊かな心が育まれ、心理的安全性が生徒にも教師にも保護者にも適切に保障されることで、生徒に身に付けさせたい資質・能力の育成につなげることができる。したがって、令和8年度については、4つの教育目標のうちの「心の豊かな生徒」の育成を踏襲（2年目）しつつ、あらゆる教育活動を「豊かな心」の育成に集約し、全教職員の力を結集して教育の本質に迫る努力をし続けたい。

4 経営上の学校スローガン

～教育活動を進めるときの職員と生徒の合い言葉～

上中プライド (Kamichu Pride) : 美しく 整える

※R08は、「心」の面の「美しさ」を強調したい

生徒に身に付けさせたい資質・能力とは・・・

豊かな心がにじみ出る「**ATM と 3K**」

A (あいさつ)
T (タイム＝時間)
M (身だしなみ)

【生活面、行事や活動で】

&

K (考える力)
K (会話する力)
K (行動する力)

【学習面、授業や活動で】

5 経営の重点

(大事にしたい視点) →すべての教育活動を展開する上で「豊かな心」の育成へ意識を傾ける

- (1)「授業改革」～心に火をつける生徒主体の授業づくり～
- (2)「発達支持的生徒指導」～やる気を引き出し可能性を伸ばす適切なかかわり～
- (3)「地学協働体制」～共感的に結ばれた地域とともにある学校づくり～
- (4)「業務改善」～柔軟な発想で生徒へ還元される時間の生み出しと心のゆとり～

6 具体的な取組内容

(1)「授業改革」～心に火をつける生徒主体の授業づくり～

- ①主体的・対話的で深い学びへの授業実践
 - ・「3K(考える・会話する・行動する)」の授業づくりを学習者の視点で工夫・改善
 - ・主体的な学びを実現する「課題の提示」と「まとめ・振り返り」の学習過程を一層重視
 - ・授業アンケートを活用し、自ら学ぶ意欲があるか、間違いや失敗のできる環境かを評価
 - ・全国学力・学習状況調査やNRT調査の分析結果を活かした不断の授業改善
- ②デジタル学習基盤（ICT機器等）の積極的な活用
 - ・生徒自身がタブレット端末を有効活用する場面を設定した授業の展開
 - ・スマイルネクスト、Chromebookの効果的活用を学ぶ研修の実施や研修会等への積極参加
 - ・意図的、計画的にICT機器を活用する場面や機会の設定（参観日、各訪問計画等において）
- ③日常の授業との関連性を重視した取組の推進
 - ・チャレンジテストや放課後学習会の積極的活用による基礎基本の定着
 - ・小中連携による学習規律の再確認、および乗り入れ授業等の実践
 - ・長期休業中学習会（おもしろ楽しい）の工夫や上チャレ、各種検定への積極的挑戦の促しによる学習意欲の向上
 - ・家庭学習習慣の確立に向けた宿題や課題の効果的な出し方の工夫（デジタルドリルを含む）

(2)「発達支持的生徒指導」～やる気を引き出し可能性を伸ばす適切なかかわり～

- ①「適切なかかわり」を通じた自走する生徒の育成
 - ・「ATM(あいさつ・時間・身だしなみ)」の自治的な実践の推進
 - ・「絆プロジェクト」を軸とした縦割り活動の充実 ※いじめ撲滅、校則の見直し等
 - ・ふれあい活動や教育相談の充実による信頼関係の確立および挑戦を恐れない心理的安全性の確保
- ②社会的自立を目指した不登校生徒への対応
 - ・未然防止の取組強化(安心安全な学級づくり、生徒会による自治活動、日常的なふれあい活動と教育相談、小中連携サポート委員会の取組、各種アセスメントの実施)
 - ・初期対応と自立支援の取組(密な保護者との連携、組織的な対応でスピード感ある情報共有、ステップルーム等による学習機会の確保と関係機関との連携)
- ③情報モラル教育の充実
 - ・外部講師等を活用したスマホ(SNS含む)等の利用にかかわる指導の充実
 - ・情報機器等に関するトラブル等への家庭・関係機関等との連携を含めた組織的かつ迅速対応

(3)「地学協働体制」～共感的に結ばれた地域とともにある学校づくり～

- ①心に響く体験活動（しかけ）の充実
 - ・ふるさと教育、キャリア教育等での体験活動の充実
 - ・社会（地域）貢献を目指したボランティア活動等の実践
 - ・PTA組織およびコミュニティ・スクールと連携した地域の人材活用
- ②小中連携サポート委員会の一層の活性化
 - ・義務教育9年間のゴールとして目指す「子どもの姿」を描いた各種取組の充実

(4)「業務改善」～柔軟な発想で生徒へ還元される時間の生み出しと心のゆとり～

- ①子どもにかかわる、やりがいのある仕事に没頭できる時間の生み出し
 - ・コアチーム、業務改善検討委員会（スマイル・プロジェクト）による自由度の高い発案の推奨
 - ・組織および個人による柔軟な発想での業務改善・時間外勤務縮減に係る積極的な試行の推奨
 - ・学校部活動の地域展開を見据えた部活動再編等の取組および市教委との密な連携
- ②職員一人ひとりの意識高揚
 - ・個人のワークライフバランスを意識した働き方の推進
 - ・柔軟でフレキシブルな勤務割り振りの変更等、各種制度の活用
 - ・職員自らの心身の健康増進こそが、よりよい教育へとつながっていくイメージの共有

7 職員に意識してもらいたいこと

- (1) 教育課程 ①地域や人材を活かした教育活動 ②ふるさと教育
- (2) 生徒指導 ①ふれあい活動による信頼関係確立 ②いじめ未然防止と早期解決
- (3) 組織運営 ①共通行動と情報共有 ②報告・連絡・相談・確認の徹底
- (4) 地域連携 ①小中連携サポート委員会 ②CS活動
- (5) 研修活動 ①研修への積極的参加 ②授業アンケートの実施
- (6) 教育環境 ①職員の模範的言動の確立 ②掲示物の工夫と環境整備
- (7) 危機管理 ①コンプライアンス意識の向上 ②防災教育推進と管理体制の強化
- (8) 職員室 ①個々が生きる職員室の風土づくり ②業務改善と定時退勤の促進

8 生徒に指導してもらいたいこと

- (1) 教育課程 ①個別最適な学びと協働的な学び ②主体的・対話的で深い学び
- (2) 学習指導 ①学習習慣の確立 ②学習過程の提示と3K授業
- (3) 道徳教育 ①地域人材活用と教科横断 ②全校・学年道徳等、組織的な実践
- (4) 特別活動 ①絆プロジェクト（縦割り活動） ②奉仕的な体験活動
- (5) 総合的な学習の時間 ①ふるさと教育とキャリア教育 ②地域人材素材の活用
- (6) 生徒指導 ①豊かな心がにじみ出るATM ②不登校・いじめへの指導と支援
- (7) 進路指導 ①キャリアパスポート ②個に応じた進路選択
- (8) 健康・安全指導 ①防災教育と危機管理 ②性・薬物・SNS・自転車等の指導
- (9) 特別支援教育 ①個に応じた指導計画と個別支援計画 ②関係機関との連携支援
- (10) 部活動 ①マナーとルールの習得 ②健康・体力の保持増進